

大雲粒の時間的変化の観測結果は、 $10^{-13}g$ の吸湿性核で説明できる。

213. 佐粧, 徳植: 併合による固体粒子の成長について  
モデル雪を用いて雲粒の捕捉は, wake によるものも大きいことをしめした。

214. 権田, 大沢: 高压用低温槽の製作  
装置の説明のみであったが, 高压下の氷晶成長は興味深い。

215. 菊地: 昭和基地における雲物理観測序論  
南極での珍しい雪結晶が示された。資料を沢山とってきたそうで次回が期待される。

216. 安斎: マイクロホン型雨滴計  
レーダー雨量計のための測器である。他の測器との比較観測が期待される。

217. 柳沢, 神林, 中垣: ミリ波レーダーによるエンゼ

#### ルエコーの観測 (第1報)

エンゼルエコーの原因をつきとめることはできなかった。ミリ波とセンチ波と同時観測はどうか。

218. 藤原, 青柳, 柳瀬: 雪片の垂直ドップラー速度の解釈について

ドップラー速度から上昇気流を求める方法を検討し, cut off がよりよいとした。

219. 小平, 藤原, 高橋: レーダー雨量計の研究 (1)  
ダムコントロールのための面積雨量計としてのレーダーの問題点を論じた。

220. 内藤, 田端, 横田: レーザー, レーダーによる視程測定に関する誤差

空港の視程に関係したレーザー光の減衰係数について論じ, two way による方法がよりよいことを数値的にしめした。

## 第15期 第4回 理事会議事録

日時 昭和44年5月21日 18.00~21.00

場所 気象庁予報部会議室

出席者 山本理事長, 大田, 毛利, 竹内, 根本, 有住, 朝倉, 岸保, 小平, 松本, 大井, 神山, 北川, 各常任理事  
吉武, 須田, 小倉, 孫野, 高橋, 山元, 中島, 沢田, 武田, 各理事  
今井, 関口 各監事

### 報告

理事長: 「気象学研究ならびに気象業務の整備拡充に関する要望書」については運輸本省人事課長を通じ運輸大臣と面接し要望した。列席者は理事長, 山元理事, 武田理事, 沢田理事

庶務: 1. 5月1日, 日本気象協会々長大屋敦氏あてに「気象学研究ならびに気象業務の整備拡充に関する要望書」の主旨に賛同し政府当局への働きかけに協力した依頼した。

2. 5月16日, 日本学術会議会長江上不二夫氏から「日本学術会議のあり方を根本的に検討するにあたって」の声明がきた。

高橋 (北海道), 山本 (東北), 山元・中島 (関西),

沢田 (九州) 各理事からそれぞれの支部の活動状況が報告された。

### 議題

#### 議決事項

1. 外国文献編集委員会設置および編集委員の任命について委員会を設ける。委員には須田・毛利・根本・大井各理事・新田尚 (電子計算室)・蔵重清 (気研台風研究部) 各会員を任命し, 須田理事を委員長とする。

2. 賛助会員の勧誘について

(イ) 常任理事会で決めた趣意書に基づいて勧誘を進める。

(ロ) 賛助会費の使途については趣意書に示されたとおりであるが, 学会活動の強化, 学術会合の活性化には支部も含めて考える。

3. その他

天気編集委員の追加任命について

原田朗会員 (高層課) を任命することが承認された。

承認事項 田村和也ほか13名および賛助会員として東北電力株式会社の入会を承認する。